阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 1	基本事務事業名	野菜ソムリエ活動促進	事務事業名	キッズ野菜ソムリエ育成事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年7月22日
	部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和		シート作成者名	玉井久実子

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営 ☑ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 ☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(2)食育の充実	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(4)野菜ソムリエの育成	○ 2 非該当	根拠法令等	育てよう！阿波ベジキッズ育成委託業務実施要領

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内小学生
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	キッズ野菜ソムリエを育成し、農業体験を通して「食」の大切さや感謝の気持ちを学び、また各種イベントにおいて市内産野菜等のPRを行い、地域の豊かさを認識し理解を深めるなど、食育活動を通じた魅力ある住みやすいまちづくりを行います。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① キッズ野菜ソムリエ任命イベントの開催
	② 野菜の販売活動や調理実習、あるいは各種イベントにおける本市産野菜等のPR実施
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	キッズ野菜ソムリエ育成人数		人	目標	60	60		
				実績	80	62		
	キッズ野菜ソムリエ育成講座開催数		回	目標			2	
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
								目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		556 千円		580 千円		1,800 千円	
	計(A)		556 千円		580 千円		1,800 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,671 千円	0.600 人	3,653 千円	0.600 人	3,625 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			4,227 千円		4,233 千円		5,425 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	食育活動や本市Pr野菜のPRが効果的に実施できています。令和2年度から「キッズ野菜ソムリエ」育成を推進するため、各小学校におけるクラス単位での任命イベントを開始しています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	徳島県で初めての取り組みで話題性もあり、事業目的の達成に向けて大変有効な事業展開ができています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		目標を十分達成できています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	事業効果が高いことから、コストは適当であると思います。また、市から野菜ソムリエ組織が独立して事業運営ができる体制強化が必要です。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	3	A	4	4	4	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

		二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	育成したキッズ野菜ソムリエの人数が大きく増加しているため、今後どのようにキッズ野菜ソムリエをサポートしていくのかが課題です。また、市から独立して事業運営を行う必要があります。	野菜ソムリエコミュニティ阿波と連携し、キッズ野菜ソムリエの育成に努めます。
改革案と実行計画	キッズ野菜ソムリエの認定を受けた子供たちに、今後、継続して活動を行ってもらえるような体制づくりが必要となります。事務局を野菜ソムリエコミュニティ阿波に完全移行するよう検討する必要があります。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 2	基本事務事業名	阿波市ブランド推進事業	事務事業名	阿波市ブランド推進事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年7月22日
	部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	川原歩夢	

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	○ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)地域特性を生かした農産物の生産	◉ 2 非該当	根拠法令等	伝統・挑戦・活力の阿波市農業振興事業費補助金交付要綱

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業関係者
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	県下一の農業地域であることや生命のもととなる食料を生産する市民にかかせない産業であることを基本的な考え方とし、農業者が農業により生活できる条件を整えることと、市民の理解と消費に支えられた農業を進めることによって、本市農業の維持・発展を図ります。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 阿波市ブランドの構築に向けた販売組織・経営力強化の推進。
	② 阿波市農業の発展と強い農業づくりのための県単補助への上乗せ支援。
	③「ブランド育成品目」について、県の各種補助事業の推進と併せて、市単独によるきめ細やかな農業の振興策を講じます。
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	制度利用者数		人	目標	10	10	10	
				実績	1	4		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO													
予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費		
		令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考		
直接事業費	国庫支出金	千円			千円			千円					
	県支出金	千円			千円			千円					
	地方債	千円			千円			千円					
	その他特定財源	千円			千円			千円					
	一般財源	2,156	千円		7,645	千円		12,500	千円				
	計(A)	2,156	千円		7,645	千円		12,500	千円				
人件費(B)	正職員工数・経費	0.700	人	4,282 千円	0.700	人	4,262 千円	0.700	人	4,230 千円			
	臨時・嘱託職種	参与			参与			参与					
	臨時・嘱託工数・経費	0.300	人	900 千円	0.300	人	957 千円	0.300	人	892 千円			
全体事業費(A＋B)		7,338	千円		12,864	千円		17,621	千円				

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	基幹産業である農業の維持・発展を目指すため、他市町にはない本市独自の施策であり、必要な事業です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	事業を継続実施することは、農業の維持発展に有効です。まt、近年の農業環境の変化に対応できる補助金メニューづくりが進んでいます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		現在、まだ目標を達成できていませんが、事業を継続して実施することにより、農業の維持発展を図っていきます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	効率的な事業の実施に努めているが、時代ニーズの変化に対応できる補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを随時進めていく必要があります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	3	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	◉ 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		◉ 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	近年の農業環境や時代ニーズの変化に対応する阿波市独自の有効的な施策を迅速に展開する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 農業環境の変化に対応した事業内容等の見直しを進めます。				
改革案と実行計画	随時、事業内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

No.	23	ー	3	基本事務事業名	阿波市のいいもの販売促進・6次化推進連携事業	事務事業名	阿波市のいいもの販売促進・6次化推進連携事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年7月22日
部局名	産業経済部		課名	農業振興課		主務課長名	岡本正和	シート作成者名	川原歩夢		

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営　☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託　☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年　☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)地域特性を生かした農産物の生産	○ 2 非該当	根拠法令等	伝統・挑戦・活力の阿波市農業振興事業補助金交付要綱等

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	農業者、加工品製造者
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	「応援します！阿波市で育ったいいものを」スローガンとして、頑張る生産者の熱い思いが込められた認証品を広く市場、消費者へアピールすることで、ブランド産品の創出や更なる生産意欲の喚起と収益の増加を目指すとともに、“農業立市・阿波市”のイメージアップを図ります。
	目的(どういう状態にしたいのか) 今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 本市で生産される農産物や加工品の開発支援並びに認証。
② 認証品のPR。
③ 徳島県や他市町と連携して設置した「とくしま六次産業化推進連携協議会」と共にPR活動の実施。
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
特産品認証数		品	目標	→	→	→	30(R6)
			実績	25	26		
県外でのPR回数		回	目標	2	2	2	
			実績	0	0		
農産物加工所設置数		箇所	目標	2	2	2	
			実績	2	5		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	1,148 千円	500 千円	500 千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,895 千円	4,005 千円	3,269 千円	
	計(A)	3,043 千円	4,505 千円	3,769 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人　3,059 千円	0.500 人　3,044 千円	0.500 人　3,021 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		6,102 千円	7,549 千円	6,790 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	ブランド産品の創出や農業生産意欲の喚起、また阿波市のイメージアップに繋げるために必要な事業です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	事業を継続的に実施することによって、ブランド産品の創出や農業生産意欲の喚起、また阿波市のイメージアップに繋がる有効な事業です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		現在26商品が阿波市の特産品として認証され、その魅力を市内外にPRしています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	本事業の目的を効率的に達成するためには、斬新なPR方法など、他市町から実施している類似事業のノウハウを取り入れる必要があります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	1	4	B	4	4	7	4	A
今後の方向性	◉ 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		◉ 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	特産認証品の拡大や今後における効果的PR方法を検討する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 PR活動を積極的に行い、“農業立市・阿波市”のイメージアップを図り販路の拡大に繋げます。				
改革案と実行計画	認証制度の周知徹底を図り、特産認証品の拡大を推進するとともに、重点的にPRすることによって、ブランド産品の創出を図る必要があります。 県や他市町と共同で立ち上げた協議会と共に、市単独では難しいPR等を実施します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

No. 23 ー 4	基本事務事業名	農山漁村未来創造事業	事務事業名	農山漁村未来創造事業	公的関与	6	シート作成日	令和4年7月22日
部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	大道　剛

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営 / □ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託 / ☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)地域特性を生かした農産物の生産	○ 2 非該当	根拠法令等：徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱・阿波市農林水産業振興事業費補助金交付要綱など

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業協同組合、安定的かつ持続的経営体が主体となり組織する団体、農業生産法人等
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ブランド品目の生産力を維持、増強する取り組みや魅力を活かす取り組みを支援し、地域農業の発展振興を図ります。
		今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 地域農林水産業の持続的発展と農山漁村の活力創出に向けて、地域が主体となって様々な課題を解決するために行う取り組みを支援します。
② ブランド産地の生産力を高め、消費感度の高い産地づくりを加速させるため、必要な機械、施設等の整備を支援します。
③ 地産地消の推進のため、地域の農畜水産物を学校給食、病院食等へ供給する体制整備の取り組みを支援します。
④ 食糧自給率の向上に向け、「供給力向上」をテーマとした住民自らの提案に基づいた地域提案型事業を総合県民局等において募集し、支援します。
⑤ 農山漁村の資源を活用した農林水産業の6次産業化を目指し、農林水産業の収益力の向上、雇用の創出や地域の活性化に必要な機械設備の整備を支援します。

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
制度利用者数		認	目標	8	8	12	
			実績	11	13		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		85,724 千円		70,408 千円		59,314 千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		4,450 千円		2,019 千円		千円	
	計(A)		90,174 千円		72,427 千円		59,314 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,671 千円	0.600 人	3,653 千円	0.600 人	3,625 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			93,845 千円		76,080 千円		62,939 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	ブランド品目の生産力を維持・増強する取り組みや、農山村の魅力を活かした取り組みを支援する必要があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	必要な機械や施設の整備により作業の効率化と、コスト削減が図れます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		事業周知により概ね達成できており、今後も制度の周知徹底を図ります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	必要な機械や施設の整備等により作業の効率化が図れます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	3	4	A	3	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	農業を取り巻く環境が変わりゆく中、農業者のニーズに応じた取り組みが迅速にできるよう支援する必要があります。 ブランド品目の生産力を維持、増強する取り組みや農山村の魅力を活かす取り組みを支援する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 徳島県単独の農業振興事業であるため、市内の農業者が、この制度を活用できるよう周知や支援を行います。				
改革案と実行計画	ブランド品目の生産力を維持、増強する取り組みなどを支援します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 5	基本事務事業名	環境保全型農業推進事業	事務事業名	環境保全型農業直接支払事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年7月22日
	部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和		シート作成者名	玉井久実子

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)地域特性を生かした農産物の生産	○ 2 非該当	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	農業者
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	環境保全に効果の高い営農活動を支援することにより、地球温暖化防止や生物多様性の保全に貢献します。
	目的(どういう状態にしたいのか) 今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 有機農業の取り組み(化学肥料・化学合成農薬を使用しない取り組み)
	② カバークロップ(緑肥)の作付け
	③ 冬期湛水の実施
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	取り組み面積		ha	目標	20	4.5		
				実績	3	3.6		
	取り組み件数		件	目標			3	
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		134 千円		159 千円		260 千円	
	県支出金		67 千円		79 千円		130 千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		67 千円		79 千円		130 千円	
	計(A)		268 千円		317 千円		520 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,224 千円	0.200 人	1,218 千円	0.200 人	1,208 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			1,492 千円		1,535 千円		1,728 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	農産物の安全な生産環境を保全する必要があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	農産物に対して強い安全性が求められえている中で、化学肥料や農薬の誤使用による生産環境の破壊を防ぐ環境保全型農業を実施することで安全・安心な農産物を消費者に供給できる農家を支援します。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		GAP等の要件が追加されたため、環境保全型農業への取り組みが減少しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	国の要綱・要領に従い事業を実施していますが、補助金申請手続きが複雑になっています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	1	2	B	4	4	2	2	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	環境保全型農業の取り組み面積が減少していますが、国が策定した「みどりの食料システム戦略」の目標にある有機農業取り組み面積の拡大に対して検討する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	第3次阿波市農業振興計画の中で、環境保全型農業の取り組みを推進する施策について検討していきます。					第3次阿波市農業振興計画に基づき、取り組みを進めて行きます。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 6	基本事務事業名	農業法人組織化等促進支援事業	事務事業名	農業法人組織化等促進支援事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年4月24日
	部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和		シート作成者名	永井勝大
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営		□ 3 全部委託	
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託		☑ 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	○ 1 該当	令和　年 ～	令和　年	☑ 期間設定なし		
		主要施策	(5)多様な担い手の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等	伝統・挑戦・活力の阿波市農業振興事業費補助金交付要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	農業関係者						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	農業設備等のコストを削減し、農業経営を持続また改善できる体制を確立するため、農業経営の法人化等の取り組みを支援します。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 農業経営の法人化等の取組を支援します。							
		②							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	農業法人化等数		数	目標	2	2	1	
				実績	0	0		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	6	農業振興費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		0 千円		100 千円		50 千円	
	計(A)		0 千円		100 千円		50 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	604 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			612 千円		709 千円		654 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	基幹産業である農業の維持・発展を目指すための本市独自の施策であり、必要な事業です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	◉ いる	○ いない		◉ いる	○ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	農業を法人化することによる各種メリットを受けるため、事業を継続実施することは、農業の維持発展に有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		現在、目標を達成できていませんが、事業を継続して実施することにより、農業法人を育成し、本市農業の維持発展を図ります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、より効果的に実施する必要があります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	2	2	B	3	4	1	3	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	目標達成に向けた、有効的な施策を迅速に展開する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 担い手不足・高齢化といった問題の解決のためには必要な施策です。今後も法人化を推進し、本市農業が発展できるよう事業を行います。				
改革案と実行計画	事業内容の広報の充実									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 7	基本事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	公的関与	2	シート作成日	令和4年4月24日
部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	玉井久実子		
事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託			
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託	☑ 4 補助等			
総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了					
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年	☑ 期間設定なし			
	主要施策	(3)農用地の保全	○ 2 非該当	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律				
事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	集落協定により5年間の農業生産活動等を行う組織							
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄の発生を防止し、農用地の多面的機能の確保を図ります。							
	今年度	集落協定に基づく多面的機能の増進や体制整備に向けた取り組みに対し交付金を交付し、継続して事業を推進します。							
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)								
	① 耕作放棄防止等の活動								
	② 水路・農道等の清掃及び管理補修								
	③ 多面的機能の増進(景観作物の作付や周辺林地の下草刈り、ビオトープの確保など)								
	④								
	⑤								

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	協定参加者		戸	目標	625	560		
				実績	556	556		
	事業対象面積		ha	目標	250	250	250	
				実績	240	239		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		27,171 千円		27,182 千円		27,545 千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		11,600 千円		11,498 千円		11,893 千円	
	計(A)		38,771 千円		38,680 千円		39,438 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,059 千円	0.500 人	3,044 千円	0.500 人	3,021 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			41,830 千円		41,724 千円		42,459 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	耕作放棄地発生防止等の活動により、多面的機能の増進を図ります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	上流部の水源涵養、洪水防止等の多面的機能により、下流域の住民の生命・財産と豊かな暮らしが守られています。また、事業を継続することにより成果の向上が見込まれます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		平地に比べ条件不利な中山間地の耕作放棄の発生等を防止するため、集落協定により5年間継続して多面的機能の増進活動等を実施する政策です。集落協定に定められた事項については、概ね達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	事業の実施は、国が定めた要綱・要領に従い行っています。また、独自のシステムで管理するなど、事務コストの削減を図っています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	3	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	中山間地域の高齢化や担い手の減少が進む中で、耕作放棄地の増加など農用地の維持管理が困難な状況になり、多面的機能の発揮に支障が生じることが懸念されています。今後も農業・農村が有する多面的機能を適切に発揮させるとともに、担い手への農地集積を後押ししていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 適正に農地の保全管理などが行われるよう、助言等に努めます。				
改革案と実行計画	現状の地域における集落協定による取り組みを継続するとともに、農地が農地として維持され、将来にわたって多面的機能が発揮されることを確保していきます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

No. 23 ー 8	基本事務事業名	農地中間管理事業	事務事業名	農地中間管理事業	公的関与	2	シート作成日 令和4年7月22日
部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	中倉惇仁

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(4)農業生産基盤の整備	○ 2 非該当	根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		離農者等の農地
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	農業経営の効率化や生産コストの低減、耕作放棄地の未然防止のために、地域の担い手への農地集積、集約化を促進します。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 農地の貸し手、借り手の募集・把握
	② 農地のマッチング
	③ 農地中間管理機構を通じた利用券の設定
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	貸付面積		ha	目標	4	4	35	
				実績	17	22		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	2,794 千円	2,870 千円	3,006 千円	
	一般財源	千円	千円	千円	
	計(A)	2,794 千円	2,870 千円	3,006 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人 3,059 千円	0.500 人 3,044 千円	0.500 人 3,021 千円	
	臨時・嘱託職種	農地中間管理事業推進員	農地中間管理事業推進員	農地中間管理事業推進員	
	臨時・嘱託工数・経費	1.000 人 1,980 千円	1.000 人 2,035 千円	1.000 人 1,733 千円	
全体事業費(A＋B)		7,832 千円	7,949 千円	7,760 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	農地集積･集約化が進み、農業の生産性の向上や耕作放棄地の解消に必要な施策です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	農地集積･集約化を進めるために有効な施策であり、継続して事業を進める必要があります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		借受希望者は減少したが、貸付希望者は増加し、貸付実績は大きく増加しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	農地中間管理事業の専属人員を配置し、事務コストの削減を図っています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	農業従事者の高齢化等により、今後益々耕作放棄地が増加すると予想されるため、借り手側となる担い手の育成が重要となっている。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 農地中間管理事業について、国が制度見直しを行うとの情報があるため、情報把握に努めます。				
改革案と実行計画	本事業の一層の取組推進を行うことにより、農地の集積、集約を促進させ、農地保全や耕作放棄地の解消を行います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 9	基本事務事業名	人・農地プラン事業	事務事業名	人・農地プラン事業	公的関与	2	シート作成日	令和4年7月22日
	部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和		シート作成者名	中倉惇仁

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(4)農業生産基盤の整備	○ 2 非該当	根拠法令等	人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内農業者等
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域農業の中心となる経営体(担い手)の確保、またその経営体への農地集積を行うため、それぞれの集落・地域における徹底的な話し合いにより、「人・農地プラン」を作成し(見直し)、人と農地の問題を一体的に解決していきます。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 地域の中心となる経営体(担い手)等の登録受付。
	② 地域農業者等の話し合い(地域座談会)の開催。
	③ 阿波市人・農地プラン検討会の開催。(プランの作成・更新を協議)
	④ 「人・農地プラン」の実質化に向けた工程表を作成。
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	中心となる経営体数	地域農業の担い手の確保が喫緊の課題であるため	経営体	目標	315	320		
				実績	384	394		
	協議実施回数		回	目標			10	
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
				目	5	農業振興費			

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		38 千円		25 千円		87 千円	
	計(A)		38 千円		25 千円		87 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,447 千円	0.400 人	2,435 千円	0.400 人	2,417 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			2,485 千円		2,460 千円		2,504 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	農地集積･集約化が進み、農業の生産性の向上や耕作放棄地の解消に必要な施策です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	農地集積･集約化を進めるために有効な施策であり、継続して事業を進める必要があります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		農地の貸し手が少なくなり、貸付面積の実績が減少しています。今後、耕作放棄地などを把握し、農地中間管理事業を通じて利用券設定を進める必要があります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	農地中間管理事業の専属人員を配置し、事務コストの削減を図っています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	4	2	A	3	4	4	3	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	農地を「貸したい方」と「借りたい方」との仲介がある程度実現したことから、貸付面積の実績が減少していますが、農業従事者の高齢化等により、今後益々耕作放棄地が拡大することが予想されるため、継続して事業を進めていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 農地の集積が推進できるよう、地域座談会の開催について努めます。				
改革案と実行計画	本事業の取り組みを継続することにより、農地の集積、集約を促進させ、農地保全や耕作放棄地の解消を行います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 10	基本事務事業名	農業次世代人材投資事業	事務事業名	農業次世代人材投資事業	公的関与	2	シート作成日	令和4年7月22日
	部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	坂東拓也	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年	☑ 期間設定なし		
		主要施策	(5)多様な担い手の育成	○ 2 非該当	根拠法令等	農業経営基盤強化促進法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内農業者等						
		目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付することで、農業経営の継続・発展を促進します。						
		今年度							
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 初期投資や就農直後の不安定な時期を下支えするための資金を交付します。							
		② 経営・技術・営農資金・農地の確保といった課題に対応できる「新規就農者訪問相談員」によるサポートを行います。							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	新規採択者数		経営体	目標	8	8	10	
				実績	6	15		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金	69,995	千円	75,999	千円	114,469	千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	700	千円	1,362	千円	8,191	千円	
	計(A)	70,695	千円	77,361	千円	122,660	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,282 千円	0.700 人	4,262 千円	0.700 人	4,230 千円	
	臨時・嘱託職種	新規就農者訪問相談員		新規就農者訪問相談員		新規就農者訪問相談員		
	臨時・嘱託工数・経費	1.000 人	2,240 千円	1.000 人	2,380 千円	1.000 人	2,356 千円	
全体事業費(A＋B)		77,217	千円	84,003	千円	129,245	千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	新規就農者など、新たな担い手を確保するために必要な事業です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	本事業は、就農直後の経営確立を支援し、農業経営を継続さすために大変有効な事業です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		目標は概ね達成していますが、今後も継続して新規就農者の確保・育成が必要となります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	新規就農者訪問相談員を設置し、効率的な事業運営を実施しています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	農業後継者が全国的に不足しているなかで、徳島県を代表する農業地域である本市では、今後も継続して新規就農者の確保・育成が課題となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 新規就農者を確保するために、所得向上に繋がる魅力ある農業施策を継続して進めるほか、県やJAと連携を強化していきます。				
改革案と実行計画	新たな担い手の確保及び就農直後のサポート体制を強化します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

No. 23 ー 11	基本事務事業名	野菜ソムリエ活動促進	事務事業名	野菜ソムリエ活動促進	公的関与	8	シート作成日	令和4年7月22日
部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	玉井久実子

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(6)交流と協働の促進	○ 2 非該当	根拠法令等	阿波ベジ活性化魅力発信事業費補助金交付要綱

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		野菜ソムリエ組織
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	子供から大人まで幅広い年齢層に阿波市産の野菜や果物の魅力を情報発信できる団体等を支援することにより、農産物のブランド化や地産地消、食育等の推進を図ります。
		今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 野菜ソムリエ組織に必要な会議費、研修費、事務費等に係る費用を支援します。
②
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
PR活動回数		回	目標	10	10	12	
			実績	1	1		
新規加入者数		人	目標			10	
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		25 千円		25 千円		700 千円	
	計(A)		25 千円		25 千円		700 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	604 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			637 千円		634 千円		1,304 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	これからの農業振興は、農業者だけでなく、市民や民間団体、行政などの連携が求められているため、必要な事業と考えます。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	野菜ソムリエを通じて、市内産の野菜や果物の魅力を情報発信することができ、有効と考えます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		野菜ソムリエ組織において、市内産の野菜・果物の魅力を情報発信する様々な活動が進められています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	野菜ソムリエが進める活動費の一部を負担することによって、効率的な農業振興が図られています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	3	A	4	4	4	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	野菜ソムリエのレベルアップが必要です。新しい体制へ移行し、行政に頼らない独立した組織になる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 野菜ソムリエコミュニティ阿波と連携し、阿波市産野菜の魅力などの情報発信を継続して推進します。				
改革案と実行計画	事務局を野菜ソムリエコミュニティ阿波に完全移行。野菜ソムリエの新規育成。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

No. 23 ー 12	基本事務事業名	産業観光活性化事業	事務事業名	産業観光活性化事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年7月22日
部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	玉井久実子

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～	令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(6)交流と協働の促進	○ 2 非該当	根拠法令等	阿波市農林水産業振興事業費補助金交付要綱

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市観光協会
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域の資源である農産物を核とした地域おこしを支援し、本市の農業・商業、そして観光の発展を一体的に推し進めます。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 農業・商業、そして観光の発展を一体的に推し進めるため、地域の資源である「食」を核とした地域振興の取り組みを支援します。
	②
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	観光客入込客数		万人	目標	120	120	75	
				実績	74.5	68.1		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		4,000 千円		4,000 千円		4,000 千円	
	計(A)		4,000 千円		4,000 千円		4,000 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	604 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			4,612 千円		4,609 千円		4,604 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	農業振興は、農業者、市民、民間団体、行政の連携が不可欠であり、今後も必要な事業と考えています。	○ 少ない	● 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	観光協会を通じて、阿波市の農業や市内産の野菜・果物の魅力を情報発信することができ、有効と考えます。	○ いえない	● いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		観光協会において、阿波市の農業や市内産の野菜・果物の魅力を情報発信する様々な活動が進められていますが、コロナ感染症拡大の影響もあり成果を上げることが難しい状態です。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	● あまり上がっていない			● あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	観光協会が進める活動費の一部を負担することにより、効果的な農業振興・PRが図られています。	○ 高い	● 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	● できる	○ できない		● できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	2	2	B	3	4	2	2	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	阿波市農産物のPRを行うため、限られた予算の中で如何に効果的に事業を実施するべきか検討するべきと考えています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 地域資源である農産物と観光事業が連携し、本市の農業・観光振興の発展に向けた取組を進めるため、情報交換の場をふやすよう取り組みを進めます。				
改革案と実行計画	今一度、事業内容を見つめ直し、効果的な施策を推進します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

No. 23 ー 13	基本事務事業名	集落営農組織等推進事業	事務事業名	集落営農組織等推進事業	公的関与	8	シート作成日	令和4年12月22日
部局名	産業経済部	課名	農業振興課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	川原歩夢	

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 1 直営　☐ 3 全部委託　☐ 2 一部委託　☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	4. 豊かで活力ある阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(1)農業の振興と森林の保全	◉ 1 該当	令和　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(5)多様な担い手の育成	○ 2 非該当	根拠法令等：伝統・挑戦・活力の阿波市農業振興事業費補助金交付要綱

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農業関係者
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	農業設備等のコストを削減し、農業経営を持続又改善できる体制を確立するため、集落営農の組織化を目指す取組を支援します。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 集落営農の組織化を目指す取組を支援します。
	②
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標
	集落営農組織数		数	目標				5(R5)
				実績	0	0		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費

		令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		0 千円		200 千円		200 千円	
	計(A)		0 千円		200 千円		200 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	604 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			612 千円		809 千円		804 千円	

阿波市全庁評価シート　令和3年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	基幹産業である農業の維持・発展を目指すため、他市町にはない本市独自の施策であります。しかし、当該事業は平成23年度を最後に申請がないため、ニーズが減少しているものと考えます。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	◉ いる	○ いない		◉ いる	○ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	後継者不足の農家が増える中、事業を継続実施することは、農業の維持発展に有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	◉ いえない	○ いえる		◉ いえない	○ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		現在、まだ目標を達成できていませんが、事業を継続については、後継者不足の対策事業も並行して行うことで、集落営農組織の設立を図っていきます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	◉ あまり上がっていない			◉ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	担い手や後継者育成と並行して事業を行わなければ、集落営農の事業継続は難しい	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	2	3	2	4	C	2	3	2	4	C
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	近年の農業環境の変化に対応する阿波市独自の有効的な施策を迅速に展開する必要があります。 また集落営農に関しては、取組がないことから、縮小するかどうか検討する必要があると思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 集落の維持や農地の保全などのためには必要な事業と考えていますが、まずは担い手、後継者不足の問題を解消していかなければならないと考えています。				
改革案と実行計画	補助金内容の見直しや新たなメニューづくりを進め、効果的な施策を推進します。									
委員会指摘事項										